

「戦争法廃止・国民連合政府」TPP反対で一致

伊那民報

題字
山口昭七氏

発行：日本共産党
伊那市委員会
伊那市狐島3879
TEL：72-2465
ホームページ
「JCP上伊那」
リニューアルしました。



J A上伊那と党地区委員会が懇談

共産党上伊那地区委員会は、JA上伊那の御子柴茂樹組合長ら役員4名と10月20日、JA本所で懇談を行いました。共産党からは三沢地区委員長、小林県議、飯島光豊伊那市議が出席しました。

党の提案に歓迎と期待

はじめに、三沢氏から安保関連法が成立したが多く国民が怒り反対の運動が広がっていること、また、強行採決直後に日本共産党が「戦争法廃止の国民連合政府」の実現をよびかけたことを紹介、説明し、理解を求めました。これに、御子柴組合長は「われ



懇談する御子柴組合長（中央）、三沢地区委員長（右端）、小林県議（右から二人目）、飯島光豊市議（左から2人目）

われの思いに一番近いところは皆さんだ」「国民連合政府の大胆な提案で共産党が変わった」と歓迎と党への期待が寄せられました。

小林県議からは「今こそTPP反対の公約を破った自民党政治を変える決断が大事」。また、先の衆院選で沖縄で野党が共同し勝利した経験、来年の参院選で32の一人区で野党が共同してたたかい、13の区で取れば勝利できることなどが語られました。

御子柴氏は「小選挙区制に問題がある。中選挙区時代は林百郎さんが出て頑張ってきた。国民連合政府に期待したい」「伊那谷の農業は兼業が支えている。農業を守る政策と政治家を選ぶことが大事」と強調。先日国会に行き藤野衆院議員（日本共産党）にも要請してきたことを明かしました。また、

**2015上伊那
平和のつどい
12月6日（日）
「戦争法と憲法」**

講師 **小森陽一**

九条の会事務局長

東大大学院教授

伊那文化会館大ホール

18：15開場18：45開会

昨年の総選挙で自民党は「TPP断固反対」を掲げ公約して勝利した。しかし、TPP交渉で「大筋合意」してしまった。自民党の公約破りは明確。JA全国大会決議にTPP反対を入れるようJA長野が提案して実現したことなどが熱く語られ、参院選挙が非常に大事なたたかいだと指摘しました。

赤旗信州秋まつりに 3000人が集う

10月11日松本やまびこドームで開催された第38回赤旗信州秋まつりに3000人余が参加。小池晃副委員長の記念講演、たけだ良介参院比例候補、唐沢あき参院選挙区候補の訴えに大きな拍手が寄せられ、「戦争法廃止の国民連合政府」実現、参院選挙勝利へ決意を固めました。伊那からは100名余が参加しました。

地 蜂

私は戦争を知らない世代だ。青春時代には「戦争を知らない子どもたち」の歌を青年会や組合青年部でよく口ずさんだ。戦争の恐ろしさや悲惨さなど眼中には無かったと思う▼戦後70年の今年、戦争体験の無い安倍首相が「戦争法案」を強行採決、世界中何処にでも後方支援の名目で自衛隊を戦争に参加させようとしている。「憲法を守れ」「違憲だ」の多くの国民の声など何処吹く風で聞こえもしない。政権は私にあり、私が指導した国民は私の下にあり！まるでヒトラーの如き独裁者の誕生だ。国民を統制するかのように一億総活躍担当大臣の新ポストを設け、戦前の一億総玉碎、大本営体制を狙い始めた▼しかし、戦前の国民意識と今は違う。多くのデモ参加者、シルズやママの会などが国会を囲んでいる。憲法を、民主主義を守るために活動している。先般、開催された赤旗信州秋まつりには制服向上委員会のステージがあった。日本で一番長く続いているアイドルグループとの事。10代の若者が正々堂々と政権を批判し、歌い訴える姿を見る時、若者の命を戦争で奪つてなるものか、との思いを強くした▼共産党五位委員長が提案した「国民連合政府」の呼びかけは参院選挙勝利への大切なステップとなった▼「戦争を知らない子どもたち」の歌詞には「大人になって歩きはじめる、平和の歌を口ずさみながら」とある。選挙権が18歳からとなった。憲法や民主主義を守り平和が続く政権誕生に参加してほしいと心から思う。
(H・I)

戦争法廃止の国民連合政府実現へ！

高遠九条の会



高遠ではこのほど、憲法九条を守る会のニュースを新聞に折り込んだところ、「九条の会に入りたい」などの問い合わせが相次ぎました。

「会」は、これらを受けて11月15日の10時から15時まで、高遠ほりべいパーク虹の駅に2回目の「憲法カフェ」を出し、絵はがきやタオル、バッグなどの販売もし、戦争法廃止の署名集めと会の強化をめざしています。

また、1月下旬に映画「戦場ぬしみ 辺野古・高江からの祈り」（三上智恵監督）の上映を予定しています。（連絡先 大場保子 ☎94-3594）

竜東九条の会



10月18日、竜東九条の会では戦争法廃止署名を持って下新田の全戸を対象に訪問しました。畑で作業している人にも気楽に声をかけながら2組で2時間ほど歩きました。

「戦争法必要」という考えの方も

やだと言っている事をくり押しして。安倍を辞めさせないとだめ」、「雨や雪の日もよく続けてますね」の声が寄せられました。

この行動は、2010年12月から毎週日曜日にアピタ、綿半、ニシザワなどの大型店前や商店街と民主団体などのイベントに合流し、延べ256回になり、約1万1200人の署名を集め国会に届けています。延べ1263人が参加しています。

「会」では「不公正税制に苦しむ人達の声に応え、更に取り組みを続け、国民への増税廃止に頑張る」と話していました。

いましたが、「難しいことはわからないけど戦争は絶対ダメ」、「戦争法が通ってしまったあと何をしていいかわからないでいた」などと積極的に応えてくれる方のほうが7割ほどで多数でした。新会員2名と45人の署名を集め、全国での2000万人署名の達成に向け、「会」として継続的な取り組みにしていきたいと意気込んでいます。

西箕輪九条の会



10月18日、JA西箕輪支所で「ドキュメント沖縄戦」の上映とリレートークを行い23人が参加しました。

4歳で東京大空襲を体験したAさんは「真つ赤に燃え盛る炎の様だけ今でもはつきりと覚えている。恐ろしかった。戦争は絶対しちゃだめ」と体験からくる思いを語りました。一人ひとり力を合わせて戦争させない取り組みをしていくことを確認しました。入会者が一人とカンパ9700円が寄せられました。

当面、毎月第2木曜日の朝宣伝を続けるとしています。



映画の後のリレートーク

反対運動の記録集 完成

「伊那西部地区産廃焼却炉反対運動の記録集」が完成し、去る6月、発刊の記念祝賀会がますみが丘公民館で行われました。関係者18名が参加し、反対運動の経緯をふりかえりました。

1997年（平成9年）春、伊那市横山地籍に産業廃棄物焼却炉建設の計画があることが表面化し、子どもらの健康・安全への不安を感じた若い母親たちと、生産活動環境悪化への懸念を抱いた酪農を営む青壮年らがそれを知り、まず行動を起こしました。

それから足かけ10年に及んだ反対運動は、三度の裁判の原告勝訴の判決が出て平成17年2月25日によりやく決着し、「空・水・土」を守り抜く成果を勝ち得て終わりました。伊那西部地区産廃問題対策連絡協議会は、この成果は住民の団結と粘りと、強力に支えていただいた弁護士・専門家各位、また、カンパなどで支援いただいた方々のおかげであり、この恩義に報いるためにも、今後の教訓とするためにも、きちんとした記録を残すべきと考え記録集を刊行したとしています。（高橋）

消費税増税に反対

各界連が宣伝・署名行動

10月25日午前、上伊那生協病院（箕輪）で上伊那の各界連絡会（民商など）が、消費税増税反対を呼びかけるビラ配布と増税反対の署名に取り組みました。この日は健康まつりに合流した取り組みで行動に5人が参加し、署名75人を集めました。

「消費税はなくしてほしい」「安倍首相は戦争法をやり、TPPはやるし、原発再稼働も、沖縄の基地強化も。国民がい

投稿

謎は解けたが

美 篤 上柳優二郎

「なぜスターリンは、ポツダム宣言に違反して関東軍を強制労働に抑留したか？」という疑問が、戦後三年間の抑留から解放されて帰国後も、ずっと続いていた。

今、その謎を解く論文に接し、あされ返っているところである。

今年の『前衛』1月号の不破論文「スターリン秘史―対日戦の終結」

「満州でなにが起こったか」で、その真相を知ることができた。

なんと、当時の大本営は、ポツダム宣言を受諾後、朝枝参謀を特使に関東軍司令部に次のような命令書を届けていた。

①関東軍は、赤軍と交戦せず出来るだけ早く朝鮮海峡に侵出させるようにせよ②大陸に居る日本人はできるだけ多く現地に留めさせよ。と驚くべき命

令を出していたのである。さらに別の文書で、関東軍を「ソ連の生産活動にお使いください」と、ソ連にお願い文書まで差し入れているのである。

これを知ったスターリンは、当初は関東軍を帰国させる予定であったが、方針を一八〇度転換して、大手を振って五〇万という関東軍をソ連各地に送り込み、強制労働を課すに至ったというのである。

我々の俘虜扱いが大本営とスターリンの合作だったとは、当時の軍部首脳のもととは思えない犯罪的仕打ちであった。

ポツダム宣言の9には「日本軍は完全に武装解除せられたる後各自の家庭に復帰し平和かつ生産的生活を営むの機会を得しめら

るべし」と明らかな条項がある。ソ連も宣言に署名していたというが、両者共この条項を蔑ろにした仕打ちは許せない犯罪行為である。七〇年を経た今、真相を知るに至ったものの、遅きに失した思いである。抑留関係者は高齢化が進み、生存者は僅かという現状である。



赤旗信州秋まつりで描いてもらった似顔絵



TPP「大筋合意」は「最終合意」じゃない

飯島光豊

茨城県の親せきが、常総市の堤防決壊の被害は太陽光ソーラーパネルの設置工事のために堤防の根元を削ったことによる「人災」だと話していた。貿易の関税はいわば被害を防ぐ堤防のようなもの。安倍政権は国民をだまし討ちにするTPP秘密交渉で関税の堤防を低くし、その

根元を削った。関税の堤防が決壊すれば日本農業はもとより、国民の食と安全や地方の暮らしが「安倍政治災害」に襲われる。自民党は前の衆議院選挙で「ウソつかない。TPP断固反対。ブレンない。」と言ったが、その自民議員のウソがばれた。戦争法廃止の世論の高まりとともに、「野党は協力して選挙に勝って安倍政権の暴走にストップをかけたい」との声は高まっている。JA上伊那組合長の言うように、国会でTPP批准、調印させないためにも、もはや国民連合政府に政権を交代させるしかないと期待する声は大きい。

シリーズ

フロア
& ぷろ
28

日本再興の鍵は教育にある

建石繁明

9月19日未明の安保関連法案強行採決によって、私たちは、戦後70年の歴史から何を学んだのでしょうか？来年の参院選に現れます。

社会、政治、教育の仕組みの根本的な破壊的改悪、憲法的な価値規範の後退は、日本社会の新自由主義化の帰結としてもたらされたものと見なければならぬと思います。

私の最大の関心事は、安保法の廃止ですが、日本を再興する鍵はまともな教育をすることにあります。若者だけでなく大人に対しても、自分が幸福に生きるための社会教育の重視、考える力の涵養こそ急務です。自分や他人を不幸にしない政治的選択の必要性は、アベ政治に終止符を打つことにあります。

大学教育の現場では金儲けにならない文系の軽視、理系の学部でも、農学部などでは栽培学や林学の分野を、産学協同による経済競争に適合しないものとして、排除されようとしています。

国立大学の研究費も、世界的な水準から見ても著しく低く、企業から研究費を導入しなければ、研究室の維持も不可能な状況です。最悪の事態を考えれば、軍事研究寄りの財政的援助に誘惑されて、自分の信ずる研究の自由の権利を放棄してしまう研究者が続出するかもしれません。

戦後70年、考える力を奪う教育政策の廃止を目指さなければ、若者の自立や学習権は保障されません。

随想

この頃思うこと

高尾町 辰野よし子 (84才)

「一人になったら伊那に帰って暮らせ」と、生前、夫から言われていたので、迷うことなく2009年の初夏に千葉市から移住してきました。

朝夕眺める南アルプスの山脈の美しいこと、緑一面続く田園風景、夕方に聞こえる市歌の美しいメロディーに心身ともに癒され、仲間とも知り合うことができて、ここに来て良かったと思っています。

戦後70年の今年、それぞれの階層の人が思いを述べています。1931年、日本は中国を侵略し15年戦争が始まりました。その時代を生きてきた私。この平和は、何物にも勝る宝。いつまでも続いてほしいと願ってきました。

それなのに、現政権は、国民の反対の声に耳をふさぎ、米国の言うままに戦争へ進む道を開いてしまった。米国は、世界で一度も使ったことのない原爆を日本人の頭上に投下しただけでなく、沖縄の人たちの土地をも奪った。そんな非人間的行いに対して、何も反論せず、追従していく政権。

この政権が居座る限り、平和な日本は望めないと若者は敏感にとらえ、自覚し、声を上げ続けている。加齢とともに衰える体。脳だけは確かなものにして、二度とだまされないように、しっかりと世の動きを見据えていかないと・・・と錦秋に思うこの頃です。

催し案内

☆ 民商創立50周年記念レセプション

11月1日(日) 13:30~受付
14:00 開会

J A上伊那3階フラワーホール

連絡先 上伊那民主商工会 (72-0550)

☆ 三峰川なないろウォーキング

11月3日(火・祝) (雨天中止)

午前9時伊那市役所西側駐車場集合

参加費 300円(中学生以下無料)

ゴール(上新田運動場)におにぎり1個と豚汁の準備あり。

主催: 上伊那医療生協健康づくり委員会

連絡先 医療生協組合員センター (79-8702)

☆ マイナンバー制度学習会

12月5日(土) 18:00~

伊那市旧勤労者福祉センター2階大会議室

主催 上伊那民主商工会 (72-0550)

☆ 2015上伊那平和のつどい

12月6日(日) 18:15開場 18:45開会

伊那文化会館大ホール

「戦争法と憲法」

講師 小森 陽一

九条の会事務局長・東大大学院教授

参加協力券 1000円

(障がい者800円、高校生以下無料)

主催: 2015上伊那平和のつどい実行委員会

事務局 馬場毅 (090-3558-5360)

(Fax 0265-73-9336)

風物詩

脱穀風景 (高遠町 的場)



きょうだい夫婦が寄り合い、田んぼで脱穀作業。天日干しで乾燥したおいしいお米ができます。藁は、押し切りで刻んで田んぼにすき込み、有機肥料にします。

☆ 「脱原発」いな金行動

毎週金曜日午後6時~6時半

いなっせ北側広場

主催 さよなら原発上伊那の会

連絡先 医療生協組合員センター

11月6日: 竜西・長谷 13日: 竜東・高遠

20日: 西箕輪・西春近 27日: 手良

訃報 小林和人さん (60才)

10月23日、小林和人さんが逝去されました。伊那市議会議員として6期23年、その後、党中央委員会自治体局職員として9年間勤務。その間、市党委員長や県委員として活躍されました。上伊那医療生協の理事としても、老人保健施設はびろの里や生協病院の立ち上げにご尽力いただきました。心よりご冥福をお祈りいたします。